

大きな体験

今回の国際健康福祉実習(ハワイ)を通じて、多岐に渡って学び、自身を大きく成長させることができたと感じました。

まず、私自身日本から出たことがありませんでした。海外へ行くことは非常に怖く、不安が多かったためです。また、日本は比較的治安が良い上、なにを食べても美味しいことが多く、サービスも「おもてなし」の精神として素晴らしいものです。この日本の素晴らしさを海外に出たからこそより感じることはできたと感じます。ハワイでは観光地を少し外れると治安があまり良くない地域も存在します。また、夜8時以降出歩くことも危ないと忠告されたこともありました。その点、日本の治安は素晴らしいものだと感じました。しかし想像したよりもハワイのサービスや食事は非常に充実しているものでした。何事も偏見で決めつけるのは良くないと実感しました。

日本と大きく違うと感じた点は、皆がフレンドリーで気さくに話しかけ、笑顔な人が多いということです。日本人は人に気を使うことも極端にある上、ひっこみじあんな性格、恥ずかしがり屋な部分が多い人も多数派だと感じます。ハワイでは誰もが気軽に話し合い、時には励まし合うこともありました。このハワイの素晴らしさを特に感じたのが、ココヘッド・トレイルでの登山です。私たちが登山した日は天候が悪く、足元が滑りやすい状況で非常に危険でした。また段上になった古いレールの跡を登る上、2m以上の大きな穴が空いている恐ろしい場所もありました。この際にすれ違う人々が英語で「大丈夫だよ！簡単簡単！」「山頂すごく綺麗だからあと少し頑張れ！」と多くの言葉をかけてくださいました。皆笑顔で身振り手振りが大きく、私も思わず「ありがとう！あと少し頑張るよ！」と拳をあげて言葉を返していました。大きな不安も解消し、無事登りきることができました。この気さくなフレンドリーさは、心も明るくなる素晴らしいものだと実感しました。

さらにホームレス支援施設にもお邪魔しました。日本でのホームレスの支援は、炊き出しなどがあるものの、比較的十分ではないと思います。しかしハワイではホームレスの

ためのロッカー、さらにはシャワーやトイレなどを貸すことのできる施設がありました。ここではホームレスの方のための古着分けを手伝わせていただき、施設の方の話もお聞きしました。ハワイというと観光地というイメージが強いですが、その裏でホームレスの問題もあるということを実感しました。しかし、その問題を放置せず活動されていることに感銘を受けました。日本も見習うべきだと思います。今まではあまりホームレスについて興味を持ち、調べることはありませんでしたが、日本ではなにができるのか、どのような支援をしているのか具体的に調べようと感じました。

さらに今回の実習ではチーム皆と仲良くなることができました。秋学期週に1度の講義だけでチームのメンバーのことを理解するのは非常に難しいです。時にはぶつかり合うこともありましたが多くのアクティビティを通じて一致団結することができました。特にYMCA プロジェクトアドベンチャーでは、協力する場面が多かったです。非常に大きなアスレチックの上でした。もちろん高い場所が怖い子もいれば得意な子もいます。できないことを責めるのではなく、できる子が率先して声をかけて助けていました。私は怖くて震える場面もありましたが、皆が手を支え、声をかけ、アドバイスをしてくれました。みな、自分のことで精一杯なのにも関わらず手を差し伸べてくれたチームのみんなには感謝しかありません。

出発前から不安だった実習を無事終えることができたのはチームのみんながいたからだと思います。語学能力の向上だけでなく、海外へ出たからこそ分かった自国の良さ、さらには異文化理解が深まりました。以上に述べたアクティビティ以外にもカヌー体験やハワイ大学での講義、フラ講習など普段では体験できないことに挑戦することができました。そこでは新しい出会いもあり、将来を考える上でも大きな体験となりました。そして、ハワイの人々のように物事をもう少しだけでも楽観的に考えることも時には必要だと感じました。先を考え行き詰まる日々も多くありましたが、一度立ち止まって深呼吸してみようと思います。残りの大学生活では、英語力をより磨き上げ、多くの国を訪れ、将来グローバルに活動することを選択肢に入れようと思いました。